

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部



令和八年七月度 入賞句一覧

投句数 四百二十六句

特選

名和 よちるゑ 選

炎天下スマツシュ決まる土ぼこり

大垣市

陸田 峻生（小五）

「炎天下」が夏の季語です。その暑さのために鳥さえも飛ばないと歳時記にあります。そんな炎天下で行われているのはテニスの試合ですね。みごとにスマツシュが決定打になったようです。さらに暑さを感じさせるのが下五の「土ぼこり」です。乾いたコートにスマツシュが決まり、勝利を勝ち取ったようですね。スポーツの醍醐味がうまく表現されました。

朝早くあさがおの海すずめ鳴く

大垣市

富田 陸翔（小三）

「朝顔」は秋の季語です。と言っても夏休みの朝に元氣よく咲いているのでピンときませんね。家の軒下にネットを張ると、朝顔がぐんぐんと空に向かつてたくさんの花を咲かせます。青やピンクや紫など、大きくパツと開いてとてもきれいです。そばでは早起きの雀が鳴いています。早朝のすがすがしい瞬間を切り取りました。

草いきれただいま僕も成長期

大垣市

市川 椋一（中二）

「草いきれ」が夏の季語です。生い茂った夏草の醸し出す熱気という意味です。この句は、「草いきれ」と成長真っ只中の自分との取り合わせの句になります。中学生は子どもから大人へと大きく変化する大変多感な年代です。アンバランスな中にも自分をしっかりと見つけている姿が句を通じて見て取れます。

秀逸

雨が止む梅雨の匂いが香る風

大垣市

日比 雅俊（小六）

夕立にあそばれびしよぬれ雨あがり

大垣市

木村 心音（小五）

青空に一氣にのんだソーダ水

大垣市

中村 朱里（小五）

お母さんおいてきぼりのなつの風

大垣市

宮本 かおり（小五）

水鏡青空うつす田植えかな

不破郡垂井町

吉田 到真（小六）

## 入選

## 小中学生の部

夏まつりたこやきうまいあつあつだ

大垣市

くらはし ちほり（小三）

あついにわあかいすいかをかぶりつく

大垣市

たかはし おとは（小三）

かきごおりけずったおとがいいかんじ

大垣市

鬼頭 新（小三）

ふうりんがきれいになるとおちつくな

大垣市

まつおか ゆうな（小三）

屋根の上まであさがおがさいたまだつづく

大垣市

みたに ゆいと（小三）

二かいから花火を見ようきれいだね

大垣市

たなはる じゅんいち（小三）

あついなつ字がすこしずつうまくなる

大垣市

増田 愛菜（小二）

夏休み宿題やればもう自由

不破郡垂井町

北澤 寿真（小六）

さくらんぼ綺麗に種を突き通す

不破郡垂井町

渡邊 司（小六）

サングラスはずしてみれば目がほそい

不破郡垂井町

桐山 葵（小六）

## 選者吟

雨蛙もの干し竿に深眠り

よちゑ

